



マリアニスト家族世界評議会

Via Latina 22, 00179 Roma, Italia – [www.marianist.org](http://www.marianist.org)

Tel (+39) 06 70 47 58 92 -- FAX (+39) 06 7000 406

世界マリアニスト祈りの日 2014年10月12日

## ビラ・ソルダーティの ファティマの聖母巡礼堂

ファティマの聖母の巡礼堂は、アルゼンチン共和国の首都ブエノスアイレス市南部にあるビラ・ソルダーティというバリオ[一般的に貧しい人々がよく住む地区]にあります。これはファティマの聖母に捧げられたこの国の最初の巡礼堂でした。

巡礼堂の起源は摂理的なものでした。このバリオの住民は、100年前にポルトガルの牧童たちに現れた“貧しい者の白い貴婦人”（聖母）が、ビラ・ソルダーティにも住みたがっておられる、といつも言っていました。それは、歴史によれば、ゴミの埋立て地の近くにあるこのバリオには、ポルトガル人を含む多くの国から移住してきた労働者階級の家族が住んでいて、アルゼンチン政府は、彼らが苦労して作った小さな住まいを収用すると脅していました。ある住民のグループは、ファティマの聖母像の周りに集まって、聖母に自分たちの家や家族を守って、保護するよう9日間の祈り（ノベナ）を捧げました。9日間の祈りが終わった時、政府は計画を変更して、その地域を収用しないと決定し、住民をそのままにしました。その同じ日に、白い鳩の群れがバリオの上空を飛びました。そして、住民はその出来事を、ファティマの聖母ご自身がその地域に留まりたいと思っておられる、と解釈したのです。

住民は、当時ブエノスアイレスの大司教だったコペーロ枢機卿を訪問して、このバリオに教会を設立して下さるようお願いしました。少し前に、ポルトガルの駐アルゼンチン大使が、アルゼンチンの人々に崇敬されるようにと、ファティマから聖母像を持ってきていました。ちょうどこの時期に、聖心布教会の会員であるスペイン人の司祭も、宣教司牧の仕事に選任されるのを待っていました。枢機卿は即座に“ファティマの聖母巡礼教会”という新しい小教区の設立を決定し、この新しい宣教活動を聖心布教会に委託しました。そして、ビラ・ソルダーティで崇敬されるようポルトガルから来たご像も預けました。



世界マリアニスト祈りの日 2014年

1

小教区は1人の住民によって寄贈された薄鋼板小屋で始まり  
ました。そして、数年後、教会堂が建設されました。大ブエノ  
スアイレス市や郊外の様々な地域から、信者が毎月の13日、特  
に、保護の祝日である5月と10月の13日に、ビラ・ソルダー  
ティのファティマの聖母マリアへ巡礼に来るようになりました。  
“Ecos de Fatima”（ファティマの話題）と呼ばれる定期  
刊行物を通して、巡礼堂の後援者ネットワークが国中に広がり  
ました。現在、毎月の13日に朝から晩まで、ファティマの聖母  
に祈ったり、お願いしたり、感謝したりするために数多くの  
人々が巡礼堂に絶え間なく来ています。



巡礼堂が建設されてから数年後、聖母マリアがファティマの牧童たちに“字が読めるよう学びなさい”と要請されたことを思い出し、バリオの子供たちのニーズを考慮して、ファティマ学校が設立されました。60年後の今、この学校は全ての学年で（幼稚園、小学校、中・高等学校、および高等トレーニング学院）、2,500人の児童生徒が学ぶ大きな教育施設に成長しました。



マリアニスト家族はこの50年間、この巡礼堂と関わりを持ってきました。既に1960年代に、コレヒオ・マリアニスタからの生徒がこの学校の生徒に要理を教えたり、家庭教師をしたりしました。そして、1990年代に協力関係がますます増えました。マリア会の修道者はこの小教区の2つのチャペルで司牧活動を担当し、またこの学校で教えるようになりました。数年間、マリア会の共同体もその地域にありました。2009年の1月にブエノスアイレスに到着したマリアニスト・シスターズは、ビラ・ソルダーティに修道院を設立しました。

2012年12月16日に、ベルゴリオ枢機卿（現在、教皇フランシスコ）は、“Obra de Fatima”（ファティマのみ業）の運営および指導をアルゼンチンのマリアニスト家族にゆだねました。その祝賀行事の折に、マリアニスト家族の各枝の責任者は、その地域の住民および教会の責任者の前で契約書にサインしました。私たちに“何でもこの人（イエス）の言うとおりにしてください”と呼びかけ続けておられる聖母マリアのことばに耳を傾けながら、私たち修道者と信徒マリアニストは、ここ、ビラ・ソルダーティのファティマの聖母の巡礼堂で、私たちの生活とミッションを共有しています。



## アルゼンチンのマリアニスト家族

アルゼンチンにおけるマリアニストの存在はすでに80年以上に及びます。1932年8月2日に、ペドロ・マルティネス・サラレグイ修道士が到着し、アルゼンチンにおけるマリア会の創設をいろいろ調べたり、そのための用意をしたりしました。数カ月後、最初の共同体を構成することになるその他の会員たちが到着しました。最初の宣教活動は信仰遵守会のベニート・ナザール学校での仕



事でした。2年後に、アルゼンチンにおける最初の厳密な意味でのマリアニスト事業であるコレヒオ・マリアニスタが生まれました。1960年代に、国の内陸部への拡大が始まりました。それは、ヌエベ・デ・フリオ市とフニン市でのコレヒオ・マリアニスタ校の創設でした。

その時、アルゼンチンとチリのマリア会員たちは、マドリド管区から分離して、アンデス管区を構成することになりました。1970年代に、マリアニストの存在は北部のモンテ・ケマド、サンティアゴ・デル・エステロでの小教区、学校、および師範学校での仕事、また、南部のパタゴニアではカトリエルとヘネラル・ロカの小教区の仕事へと拡大しました。



1978年に、信徒マリアニストの生活は“マリアニスト運動”で始まり、1992年にいくつかのグループが集まって、アルゼンチンの信徒マリアニスト共同体の組織が出来上がりました。同年に、別のプロジェクトが始まりました。すなわち、マリア会はマリアニスト家族を支える枝となるものを設立することを決定し、マリアニスト・ミッション財団が設立され、教育、社会的包摂（障害者らを社会から隔離排除するのではなく、社会の中で共に助け合って生きていこうという運動）、人間開発のために働くようになりました。

2009年の1月にマリアニスト・シスターズがブエノスアイレスに到着し、こうして、今、アルゼンチンのマリアニスト家族を構成している3つの枝が揃いました。（近いうちにアリアンス・マリアルが始まるのを期待しています。）アルゼンチンのマリアニスト家族評議会が設立され、“私たちは家族であること”の恵みをはっきりさせてくれました。この恵みは、私たちの心を生活と活動の分かち合いへと向かわせてくれます。シャミナード師の生誕 250 年祭は、全家族を対象とした“ボルドー作戦”というプログラムを通じて、真の刷新と和解への動きを鼓舞してくれました。現在も続いているこのプログラムからもたらされたすべての提案の中から、“Chamifrases”（毎週一回、家族の全メンバーに送られる解説と祈りの意向が付いているシャミナード師のことば）と、今まで 400 名以上の人々が参加した週末の霊的黙想である“RePi”（“柱の聖母黙想の家”での黙想会）が生まれました。これらのプロジェクトは、マリアニスト・カリスマの“再創立”体験でしたし、今でもそうです。シャミナード年は、“マリアニスト”のものを見方を自発的に引き起こし、そして、この“マリアニスト”のものを見方は家族の全てのメンバーとその全ての枝で倍増しました。



“家族”の意識はすべての領域で広がっています。そして、あのプロジェクトの体験以来、マリアニスト宣教者としての召命に新しい出来事が起こりました。それは、私たちが家族として取り組んできたファティマでの宣教活動と教育活動です。また、2014年の世界マリアニスト祈りの日に合わせて、10月11日～13日に予定されているアルゼンチン・マリアニスト家族総会で分かち合うことです。





# 祈りの意向

◇ 教会のために祈ります：教皇フランシスコ、司教、司祭、助祭、修道者、信徒、私たち皆が、ファティマの聖母の取り次ぎによって、この世界にことばと行いを持って神の国の証し人となりますように。**主よ、私たちの祈りを聞き入れてください。**

◇ 主よ、世界マリアニスト祈りの日にあたって、教会の全ての人々のために祈ります：私たちが、聖霊の賜物に与る聖なる民の素晴らしい光景を証しすることができますように。**主よ、私たちの祈りを聞き入れてください。**

◇ ギヨーム・ヨゼフ・シャミナードとアデル・ド・トランケレオンを奮い立たせた父なる神よ、全世界のマリアニスト家族、特にラテン・アメリカのマリアニスト家族のために祈ります：マリアのように、また、マリアの宣教者として、私たちがイエスを宣べ伝え、イエスを知らせ、愛させ、仕えさせる者となりますように。**主よ、私たちの祈りを聞き入れてください。**

◇ ファティマの聖母の取り次ぎによって、新しい召命を私たちのマリアニスト家族に送ってくださるよう祈ります。あなたが絶えず呼びかけておられる人々が、“お言葉どおり、この身になりますように”と応えたマリアのように、喜び、決心、役に立ちたいという気持ちをもって応える者となりますように。**主よ、私たちの祈りを聞き入れてください。**

◇ キリストの神秘体として私たちをナザレで身ごもり、カルワリオのイエスの十字架の下で生んでくださったマリアが、病気の人、苦しんでいる人、疎外されている人のために取り次いでくださいますように。また、マリアの子である私たちが、マリアの母としての愛を日々の行いにおいて現すことができますように。**主よ、私たちの祈りを聞き入れてください。**

◇ アルゼンチンのソルダージェィで崇敬されているファティマの聖母を通して、私たちが連帯、正義、平和、共通善の追求において成長し、真の愛の文明を共に築き上げることができますように。**主よ、私たちの祈りを聞き入れてください。**

